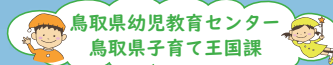


鳥取県保育者キャリアガイドライン

～「遊びきる子ども」の育成をめざして～



正規職員

観点 キーワード	キャリアステージ		キャリアスタート期 (保育者養成完成時・採用時)	育成期 (採用～5年)	向上期 (6年～10年)	充実期		
			保育者として求められる資質・能力の素地を身に付けている。	保育者としての必要な基礎的素養・指導技術を広く習得し、実践的指導力を身に付けるとともに、園組織の一員としての自覚を高める。	育成期の経験をもとに、保育実践や学級経営の専門的知識・技能を習得するとともに、得意分野の開発と実践的指導力の向上及び視野の拡大を図る。	向上期の経験をもとに、職務に関する専門性をいっそう高め、広い視点から園運営に積極的に参画するとともに、ミドルリーダーの立場としての力量及びマネジメント力を高める。	充実期前期 (11年～15年)	充実期後期 (16年以上)
素養	鳥取県を求め保育者像	理解力、教育的愛情	幼児に対する深い理解と教育的愛情を有している。					
		専門的知識・技能、指導力	幼児教育等に関する専門的な知識・技能と実践的な指導力を有している。					
		創造力、対応能力	課題解決に向けた柔軟な発想と対応能力を有している。					
		自覚、協調性、倫理観	組織の構成員としての自覚と協調性を有するとともに、保育者としての倫理観、及び法令遵守の精神を有している。					
		教養、人権意識	社会人としての豊かな教養、優れた人権意識を有している。					
幼児理解	幼児の発達等の理解	幼児の発達の理解 幼児の興味・関心の把握 幼児のよさや可能性等の理解	幼児期の発達について基礎的知識を習得している。	幼児の興味・関心を把握し、幼児のよさや可能性等の理解の基に必要な体験を考えている。	保護者の願いや思いを受け止め、職員と連携を図りながら、幼児一人一人の発達を理解し必要な体験を考えている。	幼児の発達に応じた保育について職員と共有し適切な援助を行っている。	幼児の発達に応じた保育について、職員へ適切な支援・助言を行い、園全体の教育・保育の質の向上に努めている。	
	特別な配慮を必要とする幼児への理解と支援	幼児の実態(特性や教育的ニーズ)の把握 「個別的教育支援計画」「個別の指導計画」等の作成・作成支援及び共有 実態等に応じた支援	特別支援教育の目的や意義について理解している。	幼児の実態について把握し、「個別的教育支援計画」「個別の指導計画」等を作成し、職員と共有するとともに、幼児や保護者に対して適切に指導・支援を行っている。	幼児の実態について多面的に把握し、「個別的教育支援計画」「個別の指導計画」等を作成・共有し、幼児や保護者に対して適切に指導・支援を行っている。	関係機関との連携を図り幼児への理解や関わり方について専門性を高め、職員と共有しながら、幼児や保護者に対して適切に指導・支援を行っている。	小学校や関係機関と連携しながら、幼児や保護者を支援する体制を構築している。 特別な配慮が必要な幼児やその保護者への対応について、職員に適切な支援・助言を行っている。	
	幼児理解に基づいた学級経営	一人一人に寄り添った関わり 発達に応じた集団づくり	幼児理解に基づいた学級経営について基礎的知識を習得している。	教育・保育目標や幼児の実態を踏まえ、幼児との信頼関係を築き集団づくりをしている。	教育・保育目標や幼児の実態を踏まえ、幼児理解に基づく人間関係の構築と一人一人に寄り添った集団づくりをしている。	幼児理解に基づいた集団づくりをするときに、他の学級の状況把握し、実態や課題等を共有しながら、保育実践を行っている。	園全体を見通して、幼児の実態や課題に応じた集団づくりを行うとともに、職員に対して適切な支援・助言を行っている。	
保育実践	教育・保育目標に基づいた指導計画等の作成	幼児の発達・接続・地域資源等を考慮した指導計画の作成・作成支援及び共有	幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領、保育所保育指針に基づき作成される全体的な計画、指導計画について基礎的知識を習得している。	全体的な計画に基づき、発達段階を踏まえ、園や地域の行事等を関連付けたり、小学校等との接続を考慮したりしながら指導計画を作成し、職員と共有している。	全体的な計画に基づき、発達段階を踏まえ、園や地域の行事等を関連付けたり、小学校等との接続を考慮したりしながら指導計画を作成し、実践を振り返るとともに、職員との共有に努めている。	全体的な計画に基づき、発達を見通し、園や地域の行事等を関連付けたり、小学校等との接続を考慮したりしながら指導計画を作成し、実践を振り返るとともに、職員との共有に努めている。	全体的な計画に基づき、発達を見通し、園や地域の実態、小学校等との接続の状況等を把握し、職員の話し合いの中心となって指導計画を作成し、園全体の実践を振り返るとともに、職員との共有に努めている。	
	幼児理解や指導計画に基づいた保育の実践	環境の構成の工夫 教材研究 多様な経験の確保 主体性が発揮できる保育展開	環境の構成の工夫や教材研究のあり方等について、基礎的知識を習得している。	環境の構成の工夫、教材研究に努め、幼児が主体的に活動できるよう、保育技術の習得及び実践に取り組んでいる。	環境の構成の工夫、教材研究に努め、幼児が主体的に活動したり、多様な体験をしたりできるよう保育技術の向上に努めている。	若手職員のモデルとなり、環境の構成の工夫、教材研究に努め、幼児が主体的に活動したり、多様な体験をしたりできるよう保育技術の向上に努めている。	専門的な保育技術の向上に努め、職員へも適切な支援・助言を行い、職員の中心となって、保育の質の向上に努めている。	
	幼児理解・指導計画に基づいた評価の実施	記録等を生かした評価 指導計画の改善	幼児の発達を捉えた幼児理解、指導計画に基づいた評価や記録の仕方について、基礎的知識を習得している。	職員の指導・助言のもと、幼児の育ちに目を向け、記録を基に指導計画の改善を行っている。	幼児の育ちや集団の育ちに目を向け、記録を基に指導計画を多面的に捉えながら改善を行っている。	幼児理解に基づき、具体的なねらい及び内容を踏まえて指導を振り返り、課題を明確にしている。 指導計画の評価・改善について、職員との共有に努めている。	幼児理解に基づき、具体的なねらい及び内容を踏まえて指導を振り返り、客観的に分析し課題を明確にしている。 指導計画の評価・改善について、職員へ適切な支援・助言を行っている。	
園運営・職員連携	健康・安全への対応	危機管理・安全対策	園における健康・安全・危機管理等の重要性を理解している。	安全・危機管理等のマニュアルを理解し、より安心、安全に生活できる環境を工夫している。	安全・危機管理等のマニュアルを理解し、より安心、安全に生活できる環境を工夫したり改善に努めたりしている。	安全・危機管理等のマニュアルをもとに、職員と連携して危機管理に努めている。	安全・危機管理等のマニュアルをもとに、管理職や職員と連携を図りながら危機管理に努めている。	
		感染症対策・衛生管理		感染症対策や疾病等の対応について、正しい知識を基に健康支援に努めている。	感染症対策や疾病等の対応について、正しい知識を基に職員と連携を図りながら健康支援に努めている。	感染症対策や疾病等の対応について知識を深め、職員と連携を図りながら健康支援に努めている。	感染症対策や疾病等の対応について知識をより深め、職員に対して助言するなど、健康支援に努めている。	
		食育の推進		食育計画等に基づき、食に関わる体験等を創意工夫して行うとともに、食物アレルギー等への適切な対応を行っている。	食育計画等に基づき、食に関わる体験等を職員と連携を図りながら、創意工夫を行うとともに、食物アレルギー等への適切な対応を行っている。	食育計画等に基づき、食に関わる体験等を職員と連携を図りながら、創意工夫を行うとともに、食物アレルギー等への適切な対応を行っている。	食育計画等に基づき、食に関わる体験等について職員へ支援・助言を行うとともに、食物アレルギー等への適切な対応を行っている。	
	子育ての支援	保護者への子育ての支援	子育ての支援の重要性を理解している。	保護者との良好な関係を築き一人一人の実態に応じて適切に家庭との連携を図っている。	保護者との良好な関係を築き、相談に応じたり、専門性をもって対応したりしている。	保護者との信頼関係を築き必要に応じて関係機関と連携しながら、組織の一員として保護者を支援している。	子育ての支援に関する中心的な立場を自覚し、必要に応じて関係機関と連携しながら、保護者を支援している。	
		地域における子育ての支援	地域における子育ての支援のセンター的役割等を担っていることを理解している。	地域における子育ての支援のセンター的役割を担っていることを理解して、職員と一緒に対応している。	地域における子育ての支援として専門性をもって、職員と協力して対応している。	地域における子育ての支援の中心として、職員と一緒に家庭・地域・関係機関等との連携・協力を努めている。	地域における子育ての支援の中心として、職員をリードして、家庭・地域・関係機関等との連携・協力を努めている。	
組織として連携・協働	チームマネジメント(分掌業務・同僚性)	組織の一員として職員と連携・協働して、様々な職務を行うことを理解している。	職員からの指導・助言を謙虚に受け止めるとともに、主体的に学びの場を求め職務に励んでいる。	職員としての役割を理解し、職員との合意形成を図り、計画的・組織的に職務に取り組んでいる。	職員としての役割を見直し、職員と連携を図りながら、同僚性を高めている。	園の職員として、主体的・計画的に、職員に対して支援・助言をしながら職員間の同僚性を高めている。		
	地域社会や関係機関との連携	地域社会や関係機関との連携について、重要性を理解している。	地域社会や関係機関との連携の必要性を理解するとともに職員との協力を得ながら保育を実践している。	地域社会や関係機関との連携を積極的に進め、保育の実践に生かしている。	地域社会や関係機関との連携・協働を図り、地域の人材と情報を効果的に活用して、保育実践の充実を図っている。	地域社会や関係機関との連携・協働を図り、地域の人材と情報を効果的に活用し、職員の中心となって保育実践を深めている。		

※「保育者」とは、幼稚園・認定こども園・保育所等に勤務する幼稚園教諭、保育教諭、保育士等の総称を示す。
 ※「幼児」とは、施設種に限らず、県内幼児教育・保育施設における全ての乳幼児のことを示す。
 ※「職員」とは、正規職員・臨時職員(パート職員も含む)・専門職員(看護師・栄養士・調理員等)を含めた園内すべての者を示す。
 ※採用年数に限らず、保育経験年数や園における職務内容等に応じて、指標とするステージは園内で判断する。